

「エコツーリズム大賞」の役割

～日本各地の魅力的なエコツアーを広めるために～

NPO 法人 日本エコツーリズム協会 おおくぼ りえ 大久保 吏恵 (執筆時)

◆「エコツーリズム大賞」とは？

「エコツーリズム」という言葉を耳にしたことがありますか？ これは自然や生態系の不思議さ、素晴らしさ、自然に育まれた暮らしや文化にふれ、深い感動を生む旅の考え方です。そして地域の自然や暮らしの文化を守る旅として、このエコツーリズムにのっとった旅「エコツアー」が各地で行われています。エコツアーの特徴として、エコツアーガイドが必ずつき、少人数のお客様で地域を楽しみながら旅することが挙げられます。

日本エコツーリズム協会では、毎年環境省と共催で「エコツーリズム大賞」を実施しています。これは日本各地でエコツーリズム推進に取り組んでいる事業者や団体、自治体などを対象に、「これはすごい」といった取り組みを表彰

し、広く皆さまに伝えていく制度です。全国のエコツーリズムに関連する活動の質的・量的向上および受賞者同士が出会うことにより、活発な情報交換が行われ、関係者の連帯感も生まれています。

このエコツーリズム大賞は、2016年度で第12回を迎えました。過去には、長野県軽井沢でムササビウォッチングツアー、野鳥の森を歩くエコツアーを行う「ピッキオ」や、里地・里山の暮らしを伝えていくエコツアーを行う埼玉県の「飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会」などが大賞を受賞しています。今号で取り上げられている「小岩井農牧株式会社」も、第10回で大賞を受賞しています(写真1)。これは1891年に創業されてから今までの自然と人々の歴史を紐解き分かりやすく解説



写真1 第10回(2014年)エコツーリズム大賞の表彰式。環境省大臣表彰を受ける受賞者の皆様



写真2 自然と歴史が感じられる、小岩井農牧(株)のエコツアー

していく取り組みや、それが地元雇用に寄与していることなどが評価されたものです。

◆エコツアーガイドさんと歩くと 楽しさが倍増

エコツーリズムに関するさまざまな取り組みをご紹介していく中で、少なからず聞かれるのが「エコツアーって難しそう」といったご意見です。ですが、そんなことはありません。エコツアーガイドさんは、参加者の皆さまに楽しんでいただくことを考え、日々その興味や関心を引き出すスキルを磨いています。もちろん自然や文化に精通もしていますが、「お客様に楽しんでいただきたい」「もっと自然を身近に感じてもらいたい」というホスピタリティに溢れています。だからこそ、エコツアーに参加した時の感動、満足度は高く、リピート率は5割を超えています。(出展：「2014年度エコツーリズムに関する消費者ニーズ調査」)

またエコツーリズムは参加者から参

加費をいただいて、そのお金が地域を循環し、結果的に地域の資源を守っていくことに繋がるのです。

今号で取り上げられている小岩井農牧(株)のツアー(写真2)も、1時間程度から参加できるものもあります。また、今号第2部で紹介されている鹿児島県の屋久島でも、海や山、森をフィールドにした数多くのエコツアーが開催されています。あるいは読者の皆様の身近なところでも、エコツアーが行われているかもしれません。「エコツーリズム大賞」はエコツーリズムに取り組む団体を表彰・紹介していくことで、「地名をきいたことはあるが、そこでエコツアーが行われていることを知らなかった」といった場所を、「あそこのエコツアーは楽しいね」と皆様に思ってもらえるような状況に持ち上げていく役割も担っています。ぜひ次の休日にエコツアーに参加してみたいかでしょうか。エコツアーガイドさんがきっと充実した素敵な時間を提供してくれることでしょう。